

1. 活動の概要

6月15日(金)、安来市立飯梨小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに安来市教育委員会の方から安来市黒田町にある「米垣横穴墓群」や飯梨小学校の周辺にある古墳や横穴墓の話の話を聞きました。

次に、「米垣横穴墓群」と小学校の近くにある「かわらけ谷横穴墓群」の出土品の説明を聞きました。本物の古墳時代の品を目の前で見て触りました。土器の使い方や、大刀の特徴などについてたくさんの質問がありました。

そして、「金属鏡作り」に取り掛かりました。熱を加えて金属が溶けると、みんなビックリしました。次に溶けた金属を準備した鑄型にそっと流し込みました。途中で金属が固まって、全部鑄型に入らない子もいましたが、再度チャレンジして全員成功しました。次に鑄型から鏡を取り出しました。細かい模様もバッチリ出ていました。鑄型に注ぎ込んだ時にできた飛び出たところをペンチで切り、鏡面を、紙やすりと磨き粉を使って磨きました。みんな仕上がりに満足できず、授業時間内では完成しなかったのですが、お家に持ち帰って完成させるそうです。

2. 活動の様子

1) 飯梨小学校周辺辺の遺跡について知る



「小学校の周りには、たくさんの古墳があるんだ！」



「遺跡で見つかった土器や武器です。」

2) 古代体験活動～金属鏡作り～



「がんばって、磨いて、顔が写るようにするぞ！」

飯梨小学校の皆さんから、
子ども塾の様子をまとめた、
とても素敵な冊子を頂きました。
ありがとうございます。



3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- いろいろな土器を見たり、さわらせてもらったことが一番心に残りました。
- 金属鏡作りをして楽しかった。
- どんな物が古墳から出てくるのか知りたいです。
- 銅鏡以外にも、勾玉や歴史に関係するものを、もっと作りたいです。
- いろいろな土器を見させられて、すごく面白かったです。
- 古墳のことについてもっと知りたい。
- もっと色々なものさわってみたいです。

2)担任の先生から…

- 飯梨小学校周辺にある遺跡をマップ上で確認し、自分達のくらす地域が古くから発展していたことを知って、地域に誇りをもつことにつながった。
- 本物の遺物を直に見、触れることができたことは、これまでにした経験のない児童には良い体験となった。
- 金属鏡作りは、子ども達の興味を高め、実際に体を動かし、作ることで喜びを得られた。
- 時代背景を知らせるためには、年表のようなもので、時代を知らせると良かったと思いました。
- 本物の剣(遺物)はとても興味をひいていました。模型があれば更に当時にせまることができたと思います。
- 『子ども塾事業』はとても良い事業だと思いますので、できるだけ多くの子ども達に、このような良い体験をさせることができれば良いと思います。

3)埋文センターから

近くの遺跡の見学や、地域の歴史や埴輪について勉強されていたため、講座では興味をもって説明を聞いてもらえました。飯梨小学校の校区は、島根県内でも古墳や横穴墓が特に集中する地域であり、児童の皆さんは身近に多くの遺跡があることに感動されていました。

金属鏡作りでは、授業時間ギリギリまで熱心に作業に取り組んでいましたが、ほとんどの人が授業時間内には完成はできませんでした。しかし、全員があきらめずに授業が終わってからも、いにしへの鏡職人に劣らない気迫で、立派な鏡を目指して作業を続けました。